

平成 27 年度 学校関係者評価委員会報告書

1.実施日 平成 28 年 7 月 25 日

2.場 所 講師控室

3.学校関係者評価委員

委員長：中尾尚志（公益社団法人日本ボディビル・フィットネス連盟専務理事）

委 員：久保英二（福岡県立北九州高等学校校長）

委 員：大森弘太郎（九州医療スポーツ専門学校同窓会会長）

基準 1 教育理念・目的・育成人材像等

評価平均	意見	自己評価
5	『士魂医才』『ZERO100』プロジェクトなど理念や目的が明確であり、教職員・学生に浸透しており素晴らしいと思う。	3.7

基準 2 学校運営

評価平均	意見	自己評価
5	理事長の運営方針に沿って教職員の協力のもときちんと、運営が行われている。また、校長を中心に会議も頻繁に行われ、情報共有ができ大変良い運営が行われていると思う。	3.8

基準 3 教育活動

評価平均	意見	自己評価
3.7	全ての学生に対し教育熱心に対応している印象をもつが、学科により差が見られるように感じる。それぞれの学科の特色を活かし、社会のニーズに合わせた、教育活動が重要だと感じる。	3.4

基準4 教育成果

評価平均	意見	自己評価
3	優れた結果を出しているが多少結果に差が感じられる学科が有る。 教育の成果は卒業生の質と就職率等に反映されるので、対策と質の向上が必要かと思う。	2.9

基準5 学生支援

評価平均	意見	自己評価
3.7	非常に手厚い支援が有り、相談活動をはじめ、在校生はもちろんの事卒業生に対しても充実している。学生（卒業生）と学校との支援に関する良い関係が今後も続く事が大切と思う。	3.1

基準6 教育環境

評価平均	意見	自己評価
5	教育環境は充実していると思われる。海外研修などあればグレードアップが図れると思う。学生と精神衛生上のコンタクトをとる事も大切かと思われる。	3.7

基準7 学生の募集と受け入れ

評価平均	意見	自己評価
5	本校のアピールをオープンキャンパスやガイダンスで行い、広い地域、様々な年齢層から学生を受け入れており、大変良いと思う。	4.8

基準 8 財務

評価平均	意見	自己評価
3.7	資金面の不安が無いことは、学校の運営にとっては最も歓迎される事。今後の財務の安定化でまた学校が変わって行けると思う。 経営状態を保つために学校基準方針を大切にすることが必要。	3.3

基準 9 法令等の遵守

評価平均	意見	自己評価
4.3	様々なコンプライアンスに従い、法令等の遵守が出来ている。法令等が目まぐるしく変化している中、対応して見極める事が大事である。また学校内のネット上のセキュリティも強化が必要。	3.3

基準 10 社会貢献

評価平均	意見	自己評価
4.3	学校と地域社会との関係を理解しながら運営・経営をしている姿が良くわかる。また、地域のボランティア活動も積極的に取り込み、社会貢献へ繋げるという理念に沿っている。	3.0

● 総括

全般的において素晴らしい専門学校となっていることが委員会での報告で分かった。多岐に渡り展開しつつある本校が社会に認められ、卒業生も九州に限らず、日本・世界へ羽ばたくため、他の同種の専門学校とは違うというところを目指してより良い専門学校へ皆で協力し合い躍進していく思いである。